

(1) 新たな森林管理手法の構築

現状と課題

- ◆ 県民意識アンケート（令和元年度）の結果では、県民生活に関連する37項目に関する重要度・満足度において、「自然災害に対する備え」重要度8位、満足度12位となっており、県民意識の高さがうかがえます。
- ◆ 地球温暖化の進行に伴い集中豪雨が増加する傾向にあり、自然災害が激甚化、頻発化する危険性が高まっています。（再掲）
- ◆ 台風等の影響による倒木の発生により、送電線や道路といった、インフラ施設が被害を受け、通行止めや停電が長期かつ広域にわたり発生するなど、県民の安全・安心な生活に影響を及ぼす懸念があります。
- ◆ 木材価格の低迷や不在村所有者の増加等により、適正に経営管理されていない森林が増加しています。

将	来	ビ	ジ	ヨ	ン
---	---	---	---	---	---

- ◆ 住民や市町村、インフラ施設管理者等との連携、情報共有により、被害発生時の早期復旧体制が構築されています。

取組の方向性

- ◆ 市町村、インフラ施設管理者等の関係者間の調整を図り、台風等による被害発生時の早期復旧体制の構築を推進します。

具体的施策《重点取組》

(被害発生時の早期復旧体制の構築)

- ◆ インフラ施設の被害の早期復旧を図るため、市町村、森林組合及びインフラ施設管理者等と被害復旧に関する協定を締結します。